

ベルリンの壁崩壊 30 周年 特別講演会

今年はベルリンの壁の崩壊から 30 周年を迎えます。

1989 年 11 月 9 日のベルリンの壁崩壊は、その後の東西ドイツ統一や中東欧諸国の民主化、さらには欧州の統合を導く大きな歴史的イベントでした。

鹿児島大学では中央図書館で開催のパネル展にあわせて、壁の崩壊とその影響、ならびに今日のドイツに関する講演会を開催いたします。

どうぞお気軽にご来場ください。

〈入場無料 一般の方も聴講できます〉



ベルナウアー通りに残る壁

(Thomas Ulrich による Pixabay からの画像)

日時: 2019 年 10 月 31 日(木)16:10~17:40

場所: 鹿児島大学法文学部 203 号教室

第一部

「ベルリンの壁崩壊を目撃して」

講師: 巨理 信雄 (元朝日新聞ベルリン支局長、国際本部長)



巨理信雄氏

第二部

「30 年前の壁崩壊と今日のドイツ –
切り離された国が再び一つになる過程」

Es wächst zusammen, was zusammen gehört:
der Mauerfall vor 30 Jahren – Deutschland heute
講師: Dr.ヴェルナー・ケーラー総領事 (大阪・神戸ドイツ
連邦共和国総領事館)

*ドイツ語による講演(通訳あり)



ケーラー総領事 ©GK Osaka-Kobe

主催: 鹿児島大学

共催: 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、鹿児島日独協会

後援: 鹿児島県、鹿児島県教育委員会

お問い合わせ: 中島 大輔 (099-285-8895)

nakajima@leh.kagoshima-u.ac.jp